

4 具体的な施策の展開

基本施策1 誰もが学べる環境づくり

●めざす姿

- 年齢や性別、就労の有無などにかかわらず、全ての市民が、それぞれの興味・関心にかなう生涯学習活動に取り組んでいる
- 仕事や子育てによる時間的制約や、年齢などによって健康面に不安があっても、生涯学習活動に参加しやすい環境が整い、それぞれが行いたい生涯学習に取り組んでいる

●施策目標

「誰もが学べる環境づくり」を進めることで、市の生涯学習講座への参加者数を年間83,000人まで増やしていくことを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
生涯学習講座への参加者数(人)	生涯学習講座の年間の延べ参加者数です。増加を目指します。	70,187人 (平成29年度)	83,000人

●施策の方向性

施策1 重点施策 新たな参加を促すための学習環境づくり

現在、生涯学習活動への参加が少ない層の需要を掘り起こすため、対象者ごとに、興味・関心の方向性や、参加しやすい形を把握し、対象者の特性に合わせた生涯学習事業を企画します。

企画に当たっては、生涯学習センター事業としての展開のほか、他分野との連携を検討するとともに、多様な市民の意見を講座企画にいかす方法を考えていきます。

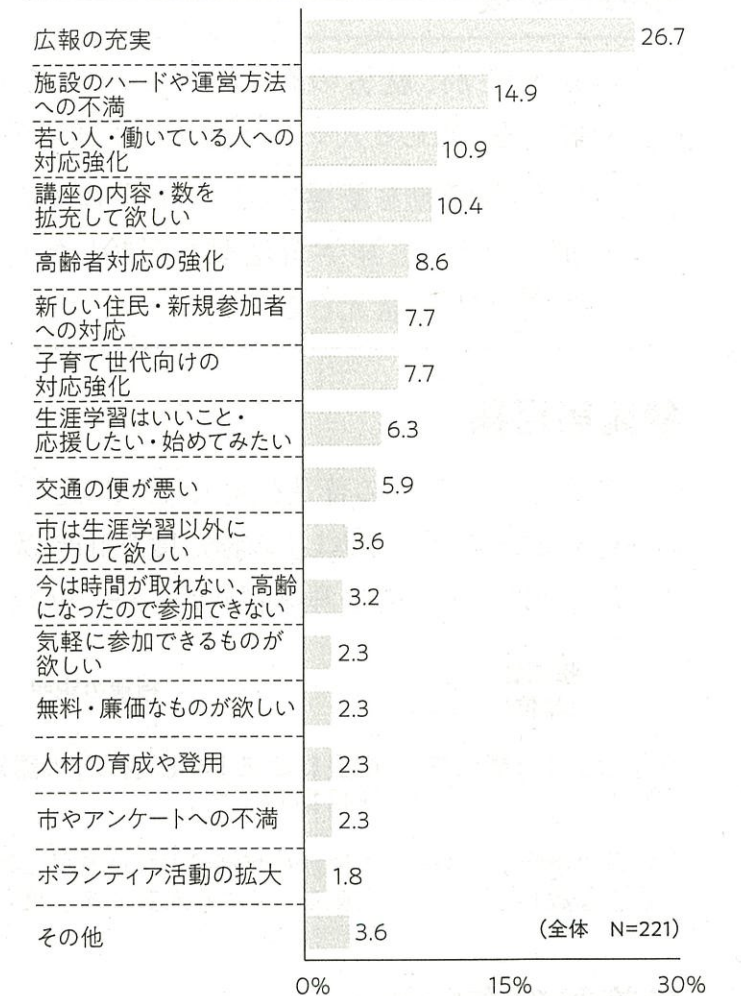
新規で実施する取組・強化すべき取組
取組1 生涯学習自体の普及促進を目指した新たなテーマの事業への取組 ●市民の多様なニーズや新たな社会変化に対応した生涯学習テーマの設定・企画
取組2 生涯学習活動に未参加の方、新しい住民向けの事業への取組 ●気軽に参加できる講座(無料で体験できる、予約なしで参加できるなど)
取組3 参加率が低いライフステージを取り込む事業への取組 ●若年層・就労者層向け事業の企画(能力拡大につながる夜間帯の事業など)

施策2 多様な市民層に合わせた学習環境づくり

本市の生涯学習事業は、全体としては大変活発な参加がある一方、若年層や就労者層の参加が少ない傾向が見受けられます。

若年層、就労者、高齢者、子育て世帯などそれぞれのライフステージに合わせた参加しやすい環境づくりや、興味を持つ内容・テーマでの生涯学習の講座提供を行います。また、これを効果的に実施するため、市民団体などとの連携や協働を更に進め、市民の力、民間活力の活用を進めます。

市の生涯学習事業についてのご意見、ご提案



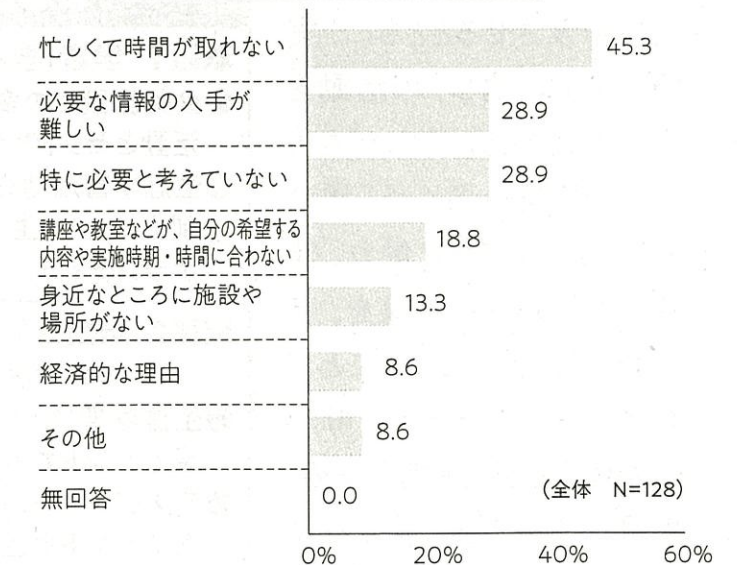
出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 気軽に参加できる学習環境づくり

市民の中には、全く時間が取れないというより、あらかじめ計画的に時間を空けられないために生涯学習事業の参加に踏み切れない方もかなりいることが想定されます。そのような状況への対応を進めていくことで、生涯学習の参加率を上げていくことができると考えられます。

現在、生涯学習に参加できていない層や新しい住民を巻き込んでいくため、幅広い市民が興味を持つようなテーマの取組及びその広報の充実や、時間がある時に気軽に参加できる講座などを行います。

「生涯学習」をしていない理由



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり

●めざす姿

- 年齢や性別、就労の有無などにかかわらず、全ての市民が、その人ごとに得た知識や技能を、求める人々に還元する生涯学習活動に取り組んでいる
- 生涯学習活動を基盤とした本市全体での市民協働が活性化している。「学び返し」の理念の下、生涯学習活動を経験した人が、そこで身につけた知識や技能を、豊かな地域づくりへ還元している

●施策目標

「学び返し」の理念の普及を図り、地域に還元する活躍の場を市民に提供し「学び返し」の実践を進めることで、「学び返し」の認知度を30%以上まで高めていくことを目標とします。また、「学び返し」活動の1つである生涯学習サポーターへの登録者数を100人以上にすることを目指します。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
「学び返し」認知度 (%)	市民による「学び返し」の認知度です。上昇を目指します。	5.7% (平成29年度)	30%以上
生涯学習サポーター 登録者数(人)	市民自らが講師となり市民に教えるサポーター活動をしている人数です。増加を目指します。	75人 (平成29年度)	100人以上

●施策の方向性

施策1 **重点施策** 生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施

「学び返し」の理念を市民に普及させるとともに、実際の「学び返し」の活動を市内で大きく広げていくためには、市民の多くが「学び返し」という言葉に触れ、体験ができるような事業を、市全体で実施していくことが有効と考えられます。市内の団体などとの連携を含め、生涯学習と地域還元をつなげる事業を検討します。

新規で実施する取組・強化すべき取組

取組1 学習(学ぶ)と還元(返す)をセットとした事業への取組

- 公共施設での多様なイベント、地域還元におけるボランティア活動とセットとなった生涯学習事業の実施
- 生涯学習活動を行っている人の地域に「返す」活動を推進する制度づくり(生涯学習ファシリテーター・サポーター、生涯学習ボランティア、社会教育関係団体(自主グループ)の活用など)

取組2 市民が学習の成果を地域に還元する契機となる事業への取組

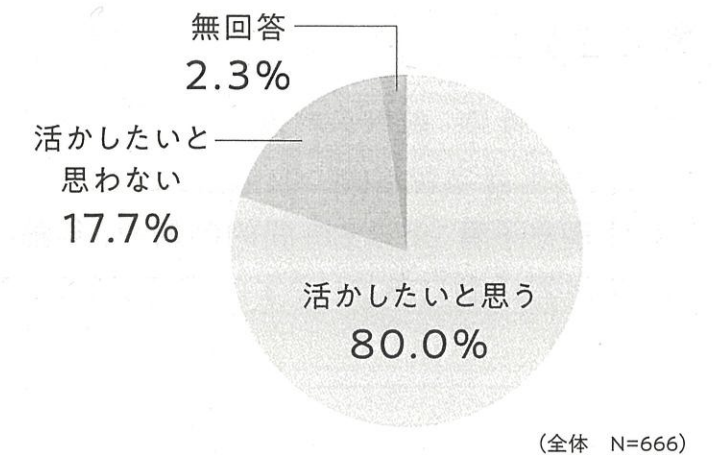
- 生涯学習フェスティバルなどの全市的イベント及び生涯学習系イベントでの市民や市民団体との連携
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会などの国際的なイベントや国際理解につながるイベント、府中の歴史文化や伝統芸能を活用したイベントなど、地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業との連携・協働とその後の取組

施策2 生涯学習を地域づくりにつなげる人材の育成や登用

本市では、第2次府中市生涯学習推進計画から、生涯学習サポーター登録制度や生涯学習ファシリテーターの育成を実施しています。また、生涯学習センターでは、生涯学習ボランティアが市と協働して市民の生涯学習活動を支援し、活躍しています。

こうした人材の育成を今後も継続するとともに、より間口を広げ、多くの人々が「学び返し」を始められるよう、学ぶだけでなく、「返す」ことも身につけられる講座などを企画していきます。また、活動の際には、生涯学習センターだけでなく、他の施設や団体等との連携や協働を進めます。

生涯学習の成果を「自分以外のために」活かしたいと思う比率



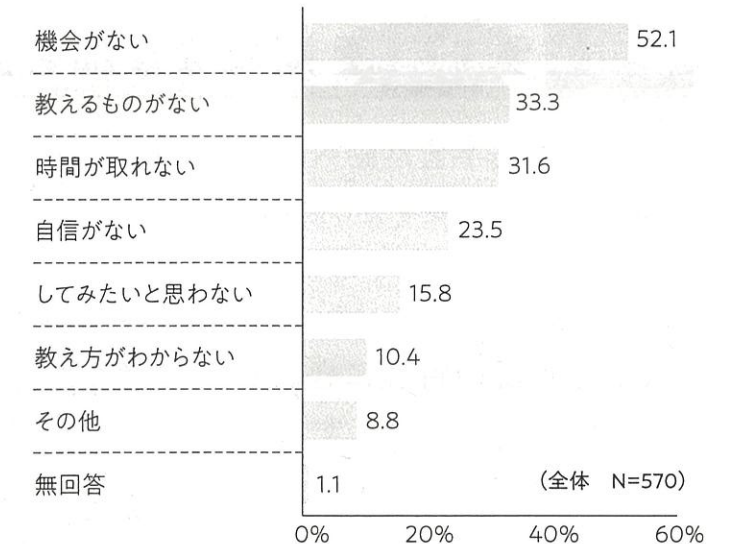
出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 市民が活躍できる場の拡大

「学び返し」の活動が広まっていくためには、そのための学習の機会だけでなく、学習活動で身につけたものを発揮できる活躍の場も、併せて拡大していくことが求められます。

生涯学習活動を行ってきた市民が、身につけた能力を発揮できる活躍の場の拡大を積極的に図っていくために、生涯学習センターなどの生涯学習系施設だけでなく、他の分野の公的施設や機関に加え、NPO団体や社会教育関係団体、生涯学習ボランティアなど、実際に地域に還元する活動を行っている団体や場との連携が極めて重要となります。加えて、市民協働の活性化を担っている市民活動センタープラッツとの密接な連携も必要です。こうした連携や協働を進めます。

「学び返し」をしたことがない理由



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備

●めざす姿

- 全ての市民が、安心して生涯学習活動の施設を利用している
- 生涯学習の魅力を伝える広報の効果的な実施により、多くの市民が生涯学習活動に関心を持ち、全ての市民が必要な情報を取得できている

●施策目標

市の生涯学習の中核施設である生涯学習センターの利用者満足度を90.0%以上に維持することを目標とします。また、より多くの市民が、必要な時に必要な情報を取得できるよう広報を充実させ、市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合を90.0%以上にすることを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
生涯学習センターの利用者満足度(%)	生涯学習活動の拠点である府中市生涯学習センターの利用者の満足度です。90.0%以上の維持を目指します。	91.0% (平成29年度)	90.0%以上
市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合(%)	市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得している市民の割合です。90.0%以上を目指します。	79.1% (平成29年度)	90.0%以上

●施策の方向性

施策1 **重点施策** 生涯学習の広報の強化

市民アンケートで、本市の生涯学習施策について最も意見が多かったのは「広報」についてです。また、若年層や就労者層、新しい住民は、市からの生涯学習に関する情報が得られないと答えています。これを踏まえ、生涯学習の基盤を支える分野での重点施策として、様々な媒体を活用した広報の強化を目指します。

新規で実施する取組・強化すべき取組

取組 多様な媒体を使った広報事業への取組

- 駅周辺施設、商業施設などでのプロモーションの展開
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会など、地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業の場を使った広報活動
- 生涯学習普及のための一元的なデジタル広報体制の整備(SNSの活用、社会教育関係団体等の「学び返し」活動の紹介、学習活動(学ぶ)と地域に還元する活動(返す)をマッチングさせるホームページの作成などを含む)
- 地域のテレビなどとの連携の充実

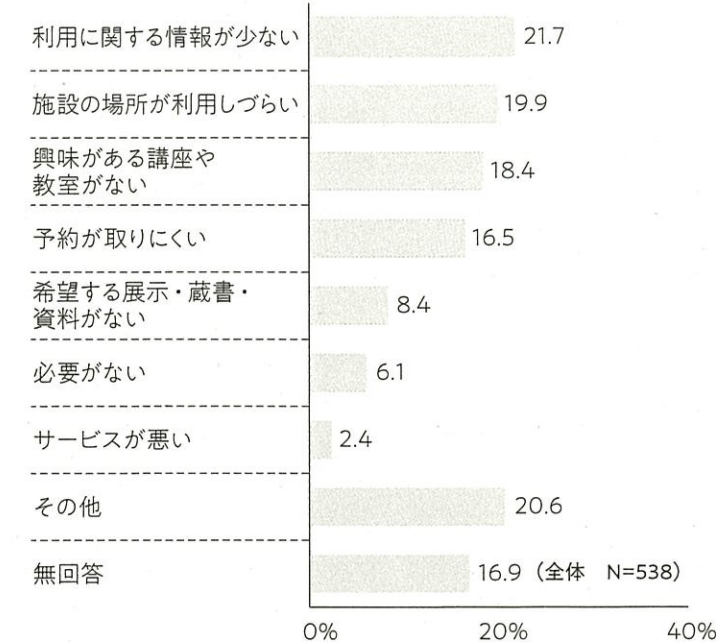
施策2 施設と事業との連携

現在、生涯学習事業の広報は、それぞれの施設や事業で行っているものが主体となっており、多種多様に行われている各活動を、市民が、どのような内容でどのような面白さがあるかも含めて調べ、選択することが難しくなっています。

また、各生涯学習系施設間、あるいは市の生涯学習系施設と市民団体などとの連携を進め、講座内容を共有し、市民に発信するなど、地域ニーズを捉えた事業展開が求められます。

地域全体での学習事業についての連携・協働の拡大などにより、生涯学習事業全体を支えていく施策を展開します。

施設等を利用する上での問題点



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 生涯学習の推進機能の充実

市内の生涯学習事業全体を通じた施策調整や広報などを積極的に展開していくに当たっては、庁内関連部署の連携を実施するとともに、NPO団体や社会教育関係団体などとの連携を推進していく必要があります。これを実現するため、庁内外の連携を、PDCAサイクルを踏まえ、逐次改善していきます。

こうした調整・連携については、これまで育成してきた生涯学習ファシリテーターの活用も検討していきます。

施策4 安全・安心に利用できる施設的环境づくり

先に述べたように、市民アンケートでは、高齢者や乳幼児連れの方などから利用しやすい環境づくりを求める声がありました。また、生涯学習センターも老朽化対策を考える時期が迫りつつあります。

こうした状況及び第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを踏まえ、安全・安心に利用できる施設的环境づくりを、サービス面の改善も含め、積極的に行います。